

「研究紀要」創刊の辞

学 長 小 川 弘 貫

本短大に於ても研究の紀要が創刊されることになり、まことに感激にたえない。研究をされる方々、又之を発表出来るよう紀要の世話をして頂いた方々に対し深く謝意を表します。

学問研究等については周知のことで云々する必要もないと思いますので之は省略し、只本短大のそれについて一寸ふれておきたいと思います。ご承知の通り本短大は保育科、食物科の両科をもっています。

まず、保育科について考えてみますと、幼児の保育の学については国際的には知識をもちませんが、国内的に之を見わたしますとその研究はこれからというところでないかと思われれます。部分的にはというか、その部門部門としては理論的にも実際的にも相当の成果があげられていることと思いますが、全体的にはその学としての研究成果は今後に期待しなければならぬのではないかと考えられます。現時点に於てはかかることではないかと思われれますので、本学に於て大いに研究して頂いて立派な成果をあげ、そしてその要点を本研究紀要等に発表して頂いて斯界に貢献して頂けたらと念願致します。只功を急ぐことは避けなければならないことでしょうし、業績主義に陥らないよう注意せねばならないことでしょう。

幸い本学には斯道の将来をになう若手の研究者が多数おられることでありますので大いに学問研究という態度で精進して頂くようお願いを致します。そしてその他には出来るだけ時間を費されないことが現状からみてよいのではないかと思います。

食物科については新設第一年でありますけれどもその研究スタッフは国際的な方々がおられるのですからその研究、その成果、業績はここで云々するを要しないでしょう。出来るだけの施設設備を整えて研究出来るよう努めることと、よき後継者を養成して頂けるようにすべきことでしょう。食物学の各分野に於てよき研究が出来、人類の生命のため大いに貢献して頂くよう切望致します。

保育の学、食物の学に於ての学問研究は全体的に部門別に大に進めて頂けると信じますが、保育、食事等に対する根本的な理念、態度については本学は幸いに道元禅師に学ぶことが出来ると思います。人を教え育てることについて、又食事関係について多くの撰述を遺して頂いていますし、それぞれについて懇切丁寧に教えられています。

幼児の教育についてもそうであると思いますが、食物関係のことについても食物学科長

原教授がいつかお話しになったように心の糧、物の糧についていろいろと研究して頂くことをお願い致します。

一般教養関係——人文、社会、自然の学についてはそれぞれ立派な成果をもたれる方々がおいでになりますし、今後大いに研究をすすめて頂くとともに後継者の養成に骨を折って頂きたいと思います。言うことは易く実際はいろいろの因縁がうまく結ばれませんかと仲々むずかしいものでありますからよろしくお願いを致します。

以上のような努力によって本学の学問研究は漸次すすめられ、したがって業績も積集され、発表される紀要の内容も充実したものとなるでありましょうし、学界、世間への貢献も見るべきものがあることとなるでしょう。念願致しますことは国際的にも、国内的にもレベルの高いよい研究が出来ることであります。

本学はご存じの通り、道元禅師の単伝正直の仏法という言葉で詮わされる自受用三昧端坐の教えを人間形成の根本精神とし、この学園の根本生命の上に学究に教育に自他の人格形成に辨むる学園であります。どうぞこの根本精神、根本態の上でよき研究がすすめられ、よき成果があげられ、よき教育がなされ、よき大学の成長が見られて、之に相応する充実した紀要がつぎつぎといつまでも生まれでることを念願してやみません。

昭和41年10月3日